

日清戦争後に治外法権が廃止されたかのように誤解するおそれのある表現である。

### ●開戦論—東京帝國大学の七博士

ロシアは朝鮮に開港を許こそうとしている。なぜなら、争いの中心を朝鮮にすれば、豊川はもうロシアの勢力範囲にあるとみなが思うからだ。したがって豊川の問題は清州の保全にかかっている。われわれがこの開港の機会をのがすならば、日本はその存立をもあやしくしてしまうことを自覚しなければならない。

(『東京朝日新聞』1905年6月24日)

### ●非戦論—内村鑑三

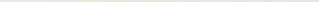
私は日露の對開港の論者であるだけではない。戦争に対して绝对的な反対論者だ。戦争とは人を殺すこと、そして、人を殺すことは大罪悪である。大罪悪をおかして個人が利益を得ることは、永久にできるはずがない。一戦争廃止論はいまでは、文明国の中流だ。戦争廃止の主張がない国は未開闢だ。そう、野蛮国にほかならない。

(『万葉報』1905年6月30日)

年代	責任者	文部の状況
1872	吉田 真理子(外務大臣)	通商手帳で失敗
1876	寺内 勝利(外務大臣)	イギリスなどの反対で不成功
1882~87	井上 謙(外務大臣)	歐化政策への政府内外の反対で中止
1886~89	大隈 道徳(外務大臣)	外国へ進歩した大臣がそれを止め
1891	香木 順造(外務大臣)	天皇でロシア皇太子がおそれて中止
1894	桂太郎(外務大臣)	外務省の改定に成功(実行なし)
1894~95		日清戦争
1900	香木 順造(外務大臣)	各国との改正条約を実施
1904~05		日露戦争
1911	小村寿太郎(外務大臣)	開税自主権を完全に回復

#### ④条約改正までの経過

歐米諸国との条約改正には、長い期間がかかるんだね。日本がアジアの国と組んだ軍事ははどうだったんだろう。



ばれたボーツマス条約では、日本の朝鮮における優越権が承認され、日本は長春・旅順間の鉄道と旅順・大連の租借権、そして南樺太をロシアから得ました。

日露戦争の犠牲者は8万人以上と多く、与謝野晶子は戦争のさなかに弟の生死を心配する詩を書きました。また戦争中、人々は重い税金や負担に苦しめましたが、賠償金は得られませんでした。そのため、政府はロシアに弱腰であるという理由で、日比谷焼き打ち事件などの暴動がおこりました。

#### 条約改正の達成

政府は、岩倉使節団のあとも、欧米との対等の関係を求めて条約改正の努力を続けていました。しかし、欧米人をもてなし舞踏会を開くなどの欧化政策は、国民に受け入れられませんでした。また、イギリスとの交渉は、日本滞在中のロシア皇太子がおそれられた事件(大津事件)により中断されるなど、実を結びませんでした。

その後、政府は日清戦争をきっかけに、陸奥宗光のもとで治外法権の廃止に成功しました。そして日露戦争の勝利は、日本を外国に認めさせる結果となり、平等条約実現の好機となりました。1911年、小村寿太郎のもとで開税自主権を完全に回復し、欧米諸国とのすべての条約改正が達成されました。



⑤日露戦争における軍事費  
国内からの借金だけではたりず、戸籍を組んだイギリスから多くの軍資金を借りました。



#### ⑥増税に苦しむ国民のようす

○ 日露戦争を、多くの人が支持した理由と、戦争を支持しなかった人の反対した理由を、できるだけあげてみよう。  
■ 戦争後 日比谷焼き打ち事件がおこった理由について話し合ってみよう。

### ●開戦論—東京帝國大学の七博士

ロシアは朝鮮に開港を許こそうとしている。なぜなら、争いの中心を朝鮮にすれば、豊川はもうロシアの勢力範囲にあるとみなが思うからだ。したがって豊川の問題は清州の保全にかかっている。われわれがこの開港の機会をのがすならば、日本はその存立をもあやしくしてしまうことを自覚しなければならない。

(『東京朝日新聞』1905年6月24日)

### ●非戦論—内村鑑三

私は日露の對開港の論者であるだけではない。戦争に対して絶対的な反対論者だ。戦争とは人を殺すこと、そして、人を殺すことは大罪悪である。大罪悪をおかして個人が利益を得ることは、永久にできるはずがない。一戦争廃止論はいまでは、文明国の中流だ。戦争廃止の主張がない国は未開闢だ。そう、野蛮国にほかならない。

(『万葉報』1905年6月30日)

年代	責任者	文部の状況
1872	桂太郎(外務大臣)	通商手帳で失敗
1876	寺内 勝利(外務大臣)	イギリスなどの反対で不成功
1882~87	井上 謙(外務大臣)	歐化政策への政府内外の反対で中止
1886~89	大隈 道徳(外務大臣)	外国へ進歩した大臣がそれを止め
1891	香木 順造(外務大臣)	天皇でロシア皇太子がおそれて中止
1894	桂太郎(外務大臣)	外務省の改定に成功(実行なし)
1894~95		日清戦争
1900	香木 順造(外務大臣)	各国との改正条約を実施
1904~05		日露戦争
1911	小村寿太郎(外務大臣)	開税自主権を完全に回復

#### ④条約改正までの経過

歐米諸国との条約改正には、長い期間がかかるんだね。日本がアジアの国と組んだ軍事ははどうだったんだろう。



ばれたボーツマス条約では、日本の朝鮮における優越権が承認され、日本は長春・旅順間の鉄道と旅順・大連の租借権、そして南樺太をロシアから得ました。

日露戦争の犠牲者は8万人以上と多く、与謝野晶子は戦争のさなかに弟の生死を心配する詩を書きました。また戦争中、人々は重い税金や負担に苦しめましたが、賠償金は得られませんでした。そのため、政府はロシアに弱腰であるという理由で、日比谷焼き打ち事件などの暴動がおこりました。

#### 条約改正の達成

政府は、岩倉使節団のあとも、欧米との対等の関係を求めて条約改正の努力を続けていました。しかし、欧米人をもてなし舞踏会を開くなどの欧化政策は、国民に受け入れられませんでした。また、イギリスとの交渉は、日本滞在中のロシア皇太子がおそれられた事件(大津事件)により中断されるなど、実を結びませんでした。

その後、政府は、ロシアの南下を警戒するイギリスと交渉をはじめ、陸奥宗光のもとで治外法権の廃止に成功しました。そして日露戦争の勝利は、日本を外国に認めさせる結果となり、平等条約実現の好機となりました。1911年、小村寿太郎のもとで開税自主権を完全に回復し、欧米諸国とのすべての条約改正が達成されました。



⑤日露戦争における軍事費  
国内からの借金だけではたりず、戸籍を組んだイギリスから多くの軍資金を借りました。



#### ⑥増税に苦しむ国民のようす

○ 日露戦争を、多くの人が支持した理由と、戦争を支持しなかった人の反対した理由を、できるだけあげてみよう。  
■ 戦争後 日比谷焼き打ち事件がおこった理由について話し合ってみよう。